



CTF通信

集う・遊ぶ
学ぶ・働く

第93号

2010年12月

発行：CTF松阪

CTF 松阪の活動 この1年

あと1カ月足らずで今年も終わります。会員の皆様の平成22年はどんな年だったでしょうか？

今年の夏は30年に一度の異常気象で、猛暑の感覚がまだ体の片隅に残っているようです。ほかにも、梅雨前線による大雨や奄美地方の大雨、海外では、ハイチ、チリ、中国、スマトラでの大地震など、今年も天変地異に悩まされた1年でした。

ノーベル化学賞に日本人2人が選ばれたという明るい話題もありましたが、所在不明の100歳以

上の高齢者が続出したり、口蹄疫のため29万頭もの牛や豚が殺処分されたりという悲しい事件もありました。

CTF松阪では、これまでに培った経験を生かして障がい者の方々のニーズに合った活動を進めました。11月末までの主な活動内容は下表のとおりです。会員皆さまのご支援・ご協力に感謝をいたします。

障がい者の方のための夏季パソコン講座開催	2コース	6回	受講者延べ27名
障がい者対象個人向けパソコン講座開催		40回	受講者延べ175名
ワーク会員スキルアップ研修会開催		19回	受講者延べ19名
サポート従事者スキルアップ講座開催		3回	受講者延べ25名
障がい者宅訪問ITサポート		33回	
IT関連事業受託（意思伝達装置使用サポート、ホームページ編集など）			4件

奈良の仏像を堪能してきました

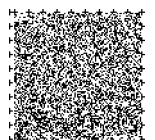
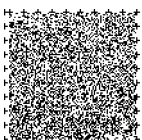


平城京遷都1300年ということで奈良へ行ってきました。大仏様は何回も見ているので、今回は興福寺の阿修羅像と斑鳩（いかるが）にある法隆寺の釈迦三尊像・百済観音がお目当てでした。

興福寺は奈良市内にあり、猿沢の池から望む五重塔が有名ですね。その国宝館に阿修羅像が展示されています。昨年でしたか、東京へ阿修羅像を運び、ガラスケースに入れて360度どこからでも見えるように展示されましたが、それがNHKテレビで放映されてすっかり有名になりました。国宝館での展示ではガラスケースはありませんが、残念ながら正面と左右の斜め前からしか見ることはできません。ご存知の方も多いと思いますが、阿修羅像は三面六臂（さんめんろっぴ）といって顔が3つ、腕が六本あります。正面の顔は眉根をしかめて悲しんでいるようでもあり、また口元は微笑んでいるようでもあり、誠に不思議な表情をしています。一方、向かって左側の顔は唇を噛み締めています。右側の顔は怒っているかのようです。この三面について学者が色々と解釈しています。阿修羅は帝釈天と戦っていつも負けていたそうで、“修羅場”というのはその戦いの場をいうそうです。

法隆寺は聖徳太子が約1400年前に建立したという、世界最古の木造建造物です。釈迦三尊像、百済観音ともに、飛鳥時代の仏像でそのお顔は細おもてでシンプルです。奈良時代以降の仏様はふっくらと丸味を帯びたお顔ですが、まったく異なります。また百済観音はすらっとした八等身で有名です。車で2時間ほどで行けますから皆さんも修学旅行の気分で行かれては如何でしょうか。

NY2010



今月号は文字数が多いので、第1ページと第2ページ、第4ページにSPコードを2個付けてあります。第1ページと第2ページ、第4ページでは、先に左下のSPコードを、次に右下のSPコードを読んでください。



関数とライブラリ

関数に書かれた処理を実行する(関数を呼び出す)には、関数名に続けてカッコを書きます。

setTryCount 関数なら setTryCount() となります。

第9回で作成した数当てゲーム(リスト2)から setTryCount 関数を呼び出している個所を探してみてください。この処理は3カ所で必要になると書きましたが、いくら探してもこのプログラムには setTryCount() と書かれた個所は2つしかありません。どうしてでしょうか?

リスト2から2カ所のうち先に出てくるほうの setTryCount() の周りをよく見てください。この setTryCount は startGame という別の関数の中身として書かれていることがわかります。そしてプログラムの中から startGame() と書かれた個所を探すと2個所見つかります。つまり startGame 関数が2カ所で呼ばれることで都合3カ所の処理が setTryCount 関数1個で書かれていることとなります。

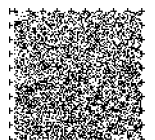
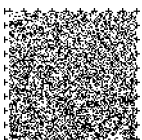
このように関数の中で実行する処理がまた関数を使って書かれていてもかまいません。作りたい処理をより具体的な複数の手順に分割して、それぞれわかりやすい名前を付けた関数にすれば、どういう手順で機能を実現しようとしているかが明確にわかる読みやすいプログラムになります。そこで呼び出すそれぞれの関数の中でさらに具体的な手順に処理を分割して、対応する関数を呼び出すということを繰り返せば、詳細なレベルまで明確に理解できるプログラムを作れます。

また、関数で実処理の記述をまとめることができるのは、一つのプログラムの中だけではありません。様々なプログラムで共通して必要になる機能は、必要になるたびに個々のプログラマが書くより、あらかじめ誰かが関数として書いて用意しておくほうが効率的です。ほかのプログラマはそれをただ呼び出すだけで済むからです。

そのような仕組みはすでに様々な形で実現されています。例えばメッセージを出力するために使った alert という“呪文”はその典型です。Windows アプリケーションの中でウィンドウを開いてユーザーにメッセージを出す、という機能は様々なアプリケーションが必要とすることが容易に想像できます。そこで JavaScript にはあらかじめ alert という名前その機能が用意されているわけです。

このように便利な作り付けの関数がたくさんあるほど、プログラマは楽をできることになり、それがその言語の使いやすさにもつながります。このため JavaScript に限らず、ほとんどの言語処理系があらかじめ「ライブラリ」などとして様々な関数を用意しています。

つづく



活動報告

【11月】

障がい者対象個人向けパソコン講座
(2日、9日、16日)



活動予定

【12月】

障がい者対象個人向けパソコン講座
7日、14日、21日
各 9:30~11:30
松阪市障害者福祉センターにて



松阪食べある記

和風レストラン こうらく

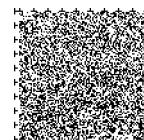
今月は和風レストラン「こうらく」を訪れました。
老舗の味を気軽に楽しんでもらいたいという三代目の強い
思いが込められた店内は、テーブルやカウンター、和室ともゆ
っくりとくつろげる空間が演出されています。

おすすめは、ランチメニューの「ヘルシーお豆腐ご膳」、お
造り、天ぷら、煮物や小鉢等々盛りたくさん。そのうえ食後
にはコーヒーと小豆入りのムースのデザートが付きます。

右の写真は、ヘルシーお豆腐ご膳 1,200円



所在地：松阪市湊町 261
電話：0598-21-7070
営業時間：11:00~14:30 (LO=14:00)
17:00~不定
定休日：毎週水曜日



今月は、先月号に続き、北勢地域でまちづくりの仕事をしているH. H様から、情報公開についてのご投稿いただきました。

今回のテーマは「情報公開」です。

そもそも私が情報公開に興味を持ったのは、学生時代に県内で活動する市民オンブズマン（市民の立場で行政をチェックする団体の呼称）の活動に、ボランティア参加したことから始まります。以前から私は行政に対しては、いろいろと疑問を持っていたので、情報公開制度を活用して、松阪市や県に様々なテーマで公開請求を行いました。最初は空振りばかりだったのですが、三振の回数をこなしていくと狙い目も少しずつ絞れてきて、行政側があまり表に出したくない情報にヒットさせることができるようになりました。その一つが医療事故に関する情報です。現在では、公立病院で医療事故が発生すると自主的に公表されるケースが多くなりましたが、私が4つの三重県立病院に対して、過去の医療事故報告書を情報公開条例に基づいて公開請求したところ、全面非公開の決定を受けました。私は納得いきませんでしたので、図書館に籠って勉強して、自分ひとりで非公開の取り消しを求めて裁判を起こしました（2002年）。提訴から数ヵ月後に県立病院側が非公開にした文書を一個人情報保護した上で一公開することと、医療事故の公表基準を策定するという動きがあったので、訴訟を取り下げることになりました。医療事故の情報公開を進めることは、医療の質を向上させ、事故を減らす契機になるものと信じています。お時間があれば、ぜひ下記アドレスのブログにアクセスしてみてください。

NPOみえ医療ウォッチング（2003年に設立しましたが、現在は活動が停滞中です）

<http://blog.goo.ne.jp/65491>

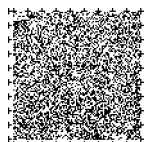
H. H



編集後記

今年最後のCTF通信をお届けいたします。

インフルエンザ等はおからないように・・・
新しい年をお迎えください。
来年も宜しくお祈りします。



CTF 通信第 93 号

2010年（平成22年）12月発行

発行者 ITを活用した障がい者支援NPO法人

CTF 松阪

発行責任者 川 口 保 美

住 所 〒515-0081

松阪市本町 2181-1

電 話 0598-21-7268

U R L <http://ctf.dip.jp/>

